

前橋に元気を響かせる

太陽の鐘がお目見え

大阪万博(1970)で「太陽の塔」を制作した日本を代表する芸術家・岡本太郎(1911~96年の作品「太陽の鐘」が、今年の春、広瀬川右岸の諏訪橋下流(前橋市千代田町5丁目)に設置されました。「太陽の鐘」は日本通運株式会社が運営する静岡県のレジャー施設内に設置されていましたが、1999年に同施設が閉園されてからは、人々の目に触れない状態が続いていました。太陽の会(前橋市の活性化を目指す企業の団体・株ヤマトも会員)は、「太陽の鐘」を前橋再生のシンボルとするため、前橋市への移設をサポートしてきました。

岡本太郎氏の作品のうち、「鐘」はたった2つしか存在しません。「太陽の鐘」は岡本氏の重要な作品の一つです。鐘の設置場所をデザインしたのは、著名な建築家の藤本壯介氏で、前橋市の将来ビジョン「めぶく」を体現するような場所づくりを目指したそうです。太陽の鐘は森の中に包み込まれ、森全体を響かせるという意図から、森そのものを貫くような大きな撞木(しゆもく)を構想したということです。

(株)ヤマトは、長大な撞木を制作しました。撞木の長さは24メートル、重さは1.2トン、鐘は約2.2トンです。良い音が出るまで改良を重ねました。設計者の藤本氏は「撞木で撞くと、鐘の姿は見えないけれど、鐘の音が鳴り響きます。撞木で撞くと、様々な音を感じる体験が、ここにしかない特別な体験になると考えています」とコメントを寄せてくださいました。



長さ24mの撞木



2018年3月31日に完成式典が行われました

和'S YAMATO 夏号(第37号) 2018

建設プロダクト ヤマト

株式会社ヤマト 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所／軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀
附属施設／大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター
ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

西郷どん

(せごどん)

【薩英戦争】 慢夷の無謀を悟る薩摩藩

の考へた。しかし同年七月十九日長州藩は御所の諸門に攻撃を開始する。戦力差は圧倒的に幕府軍が勝っていたものの、御所に向けての攻撃といふ予想外の事態に当初は防戦に追われていたが、西郷率いる薩摩藩の参戦により、長州軍は撃退された（禁門（蛤御門）変）。戦いは一日で決したが、京の町は三日間燃え続け、公卿屋敷数十軒と民家約二万八千戸が焼失する大惨事となつた。

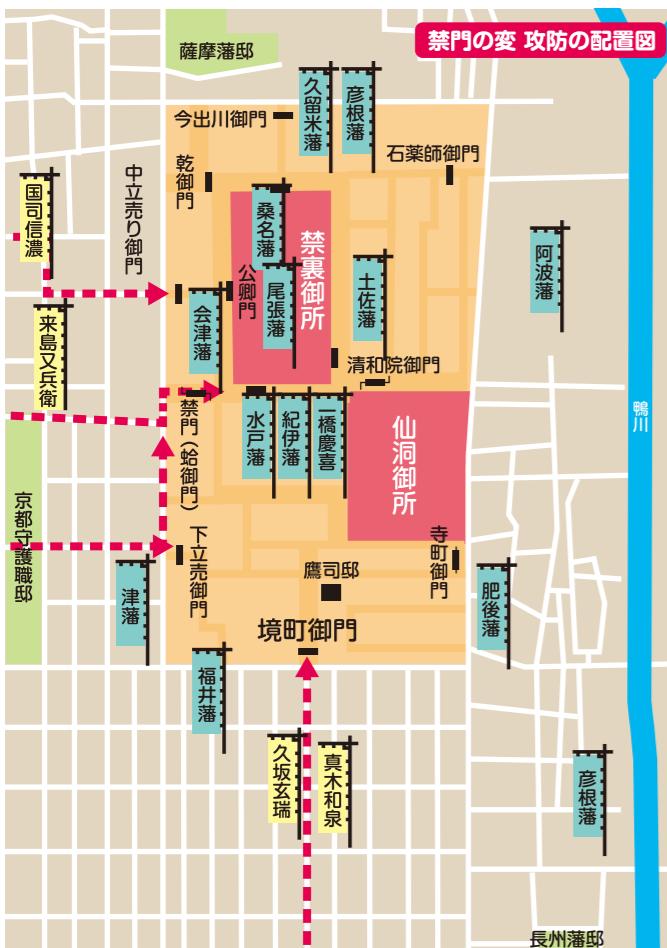
元治元年七月、御所を攻撃した長州藩は朝敵となり、幕府は長州藩を一氣につぶそうと計画し、西郷隆盛を參謀長に任命、諸藩に対し長州征討を命じ



西郷どんの肖像画(鹿児島市立美術館所蔵)

【木戸門の夢】薩摩と長州の対立

郷した西郷は軍賦役（軍司令官）に任命され、すぐさま京都に向かつた。同年六月、京都三条木屋町の旅館・池田屋に集結していた尊王攘夷派の志士を新選組が襲撃し、多くの志士が討ち取られた（池田屋事件）。この事件を契機に、長州藩内には兵を京に進め、形成を一気に逆転すべきとの強硬論が優勢になり、急進派は強引に京都に兵を進めた。桂小五郎（木戸孝允）や高杉晋作らは形



虹御門（京都御苑）



1000



鉄製150ポンド砲のレプリカ

(鹿児島県鹿児島市・仙巖園)

体制を立て直して再攻撃をするための撤退だった。薩摩藩は英艦隊が再度攻撃してくれば甚大な被害を受けることになると考へ、英國に賠償金の支払いなどの講和を持ちかけた。講和を機に、薩摩藩と英國は急速に接近、薩摩藩は英國からの武器購入など軍備の近代化を進めるのだった。

西郷は沖永良部島で英國艦隊の襲来を聞き、郷土の一大事と憂慮し、本土へ渡る船を自作して島から脱出しようとしたが、英艦退去の報が伝わり、思ひとどまつたという。

薩英戦争によつて、薩摩藩は攘夷（外国を討つこと）が無謀であることを悟る。薩摩藩は長州藩とともに尊王攘夷を掲げてきたが、方針を転換し、公武合体（朝廷と幕府の合体）で政治を立て直そうとした。この方針転換により、尊王



生麦事件碑(神奈川県横浜市鶴見区生麦1-16)

西郷隆盛と幕末・明治維新



(鹿兒島縣鹿兒島市)



⑤寺田屋の外観



①徳川将軍は三代家光以降の約230年間、江戸を出て上洛することはなかった。そのため、原則として諸大名にも上洛を禁じ、西国大名が江戸と本国を往復するときは京都中心部ではなく、伏見を通った。島津家も例外ではなく、伏見に屋敷を構えた。



②避難の材木小屋跡



③月桂冠大蔵記念館
江戸時代前期の伏見は酒造業者数が83件で、国内有数の産地として栄えた

【寺田屋事件】薩摩藩は龍馬を救出

薩長同盟が結ばれた直後の慶応二年（一八六六）一月二十四日未明、坂本龍馬は寺田屋に潜んでいたところを伏見奉行所配下の捕り方に襲撃され、深手を負いながらも逃げ出し、材木小屋に潜んだ。薩摩藩は藩の旗印を掲げた船を出して龍馬と妻のおりようを救出した（寺田屋事件）。

同年の三月一日、薩摩藩は、薩長同盟成立の立役者である坂本龍馬の功績へのお礼と、傷の温泉療養を兼ねて、西郷は龍馬とお龍を薩摩に招待し、霧島山麓の各温泉地で療養させた。この旅行が「日本初の新婚旅行」といわれている。

（参考文献 「大西郷の逸話」南方新社刊）



④三十石船・十石舟
川の港町としての伏見の歴史を伝える觀光屋形船。全国有数の酒處・伏見は、江戸時代には淀川舟運の拠点としても栄えていた。その当時、伏見と大坂を結んでいたのが三十石船や十石舟だった。



薩長同盟所縁之地 石碑
近衛家別邸(小松帯刀寓居跡)跡に建立された石碑。
京都市営地下鉄鞍馬口の直近にある。



相国寺 禁門(蛤御門)の変、鳥羽・伏見の戦いで犠牲になった薩摩藩士の墓がある。

西郷の取り計らいにより、長州藩は降伏したが、藩制は維持された。この結果に、幕府内では長州に対する処分が軽いという意見が多くすぶつていた。こうした声におされ、慶応元年（一八六五）五月、徳川家茂は再度長州征伐に乗り出す（第二次長州征伐）。しかし、この征伐軍に薩摩軍の姿は無かつた。外国の脅威に対して打開策を打ち出せない幕府に対して、薩摩藩は失望感を抱いていた。

西郷は、雄藩同士の戦争を避けるため、長州の桂小五郎と下関で会談をする段取りだった。同年六月、西郷と鹿児島から下関へ向かったが、西郷は下関を通り越し、京都へ向かった。これは、家茂が大

軍を率いて京都へ上ったとの知らせを受け、長州攻めを回避させようとして上洛したのだった。下関で待っていた桂は激怒するが、坂本龍馬らの尽力により、京都で再び会談が行われることに対する恨み言を延々と述べたが、西郷は反論せず聞いていたという。会談は进展せず、豪華なごちそうを食べるだけ10日間がたち、龍馬はまだ話合いが終わらないことに驚きを隠せなかつた。桂小五郎は、長州藩は存亡の危機に立たされており、長州藩から話を切り出せば助けを求める形になる、と対面にこだわるため、龍馬は西郷に対

して同盟の話を切り出して欲しいと要請し、西郷は約束した。

西郷は大久保利通に長州征伐に協力しないように指示し、坂本龍馬から「長州に薩摩名義で武器や艦船を購入して、長州からは兵糧米を購入する」という策を授かり、長州藩に便宜を図った。両藩は融和に動き、討幕の軍事同盟を結ぶのである（薩長同盟）。

薩長同盟により、幕府は劣勢を余儀なくされるが、徳川政権の温存を図る旧幕臣の巻き返しがあり、幕末の権力争いは混迷を深めていく。



「薩長同盟」敵対する雄藩の歴史的な軍事同盟

して同盟の話を切り出して欲しいと要請し、西郷は約束した。

西郷は大久保利通に長州征伐に協力

しないように指示し、坂本龍馬から「長

州に薩摩名義で武器や艦船を購入し

て、長州からは兵糧米を購入する」とい

う策を授かり、長州藩に便宜を図った。

文政10年(1827)	1才	鹿児島で誕生
天保10年(1839)	13才	ケンカの仲裁で怪我を負って刀を握れなくなり、勉学に励む 蚕社の獄で高野長英や渡辺華山などが捕えられる
天保11年(1840)	14才	アヘン戦争始まる(2年後に終わる)
天保12年(1841)	15才	天保の改革(水野忠邦)
弘化1年(1844)	18才	郡方書役助(こおりかたかきやくたすけ)に任命される
嘉永2年(1850)	24才	農政に関する建白書を提出 お由羅騷動勃発・赤山勘兵衛の切腹で号泣する
嘉永3年(1851)	25才	ジョン万次郎が帰国
嘉永5年(1853)	27才	家督を継ぐ ペリー来航(翌1854年に日米和親条約)
安政1年(1854)	28才	島津斉彬のお庭方となり江戸へ・政界工作に携わる 藤田東湖と出会う
安政2年(1855)	29才	橋本左内と出会う
安政4年(1857)	31才	篤姫と徳川家定が婚姻
安政5年(1858)	32才	日米修好通商条約に調印(松平忠固が推し進めた) 島津斉彬が急死
		安政の大獄で追われ、月照と共に入水・奄美大島で蟄居
安政6年(1859)	33才	吉田松陰に死刑
万延1年(1860)	34才	桜田門外の変 和宮親子内親王が徳川家茂へ降嫁
文久2年(1862)	36才	奄美大島から帰還 寺田屋事件で薩摩の攘夷派が島津久光に肅清される 島津久光の怒り描い、今度は徳之島&沖永良部島へ
		生麦事件 高杉晋作らの英國公使館焼き討ち事件
文久3年(1863)	37才	新撰組の前進・壬生浪士が結成される 長州藩が下関戦争(英・仏・蘭・米) 薩摩藩が薩英戦争
		8月18日の政変で長州藩を京都から追放
元治1年(1864)	38才	再び赦されて、京都における薩摩藩責任者となる 池田屋事件(長州藩の攘夷派が新撰組に討たれる) 禁門の変で薩摩&会津が長州を京都から追放 佐久間象山が暗殺される
		第一次長州征伐で長州はソク白旗
慶応2年(1866)	40才	西郷隆盛と木戸孝允、薩長同盟を結ぶ アーネスト・サトウが『英國策論』を執筆
慶応3年(1867)	41才	明治天皇が即位 徳川昭武がパリ万博へ 高杉晋作が結核で死亡 徳川慶喜が大政奉還に応じる 坂本竜馬と中岡慎太郎が暗殺される(近江屋事件)
		庄内藩が江戸藩邸を焼き討ち
明治1年(1868)	42才	鳥羽伏見の戦いをもって戊辰戦争が始まる 江戸城無血開城を主導 会津戦争・北越戦争・上野戦争・箱館戦争
明治2年(1869)	43才	版籍奉還
明治4年(1871)	45才	廃藩置県 岩倉使節団が欧米へ・西郷らが留守を預かる
明治6年(1873)	47才	征韓論を機に下野し、鹿児島へ
明治7年(1874)	48才	鹿児島に私学校を設立 佐賀の乱で江藤新平が死亡
明治8年(1875)	49才	秩禄処分で士族の家禄等が剥奪される
明治9年(1876)	50才	廃刀令により士族は帶刀の特権も奪われる 神風連の乱・秋月の乱・萩の乱
明治10年(1877)	51才	西南戦争



西郷どんのキャラクター

西郷隆盛と関連事項の略年表



薩摩藩邸跡の碑(京都市烏丸通今出川)
維新ドラマの道には、薩英戦争、西南戦争など歴史を紹介するモニュメントが7基設置されています。



かごしまちなかおもてなし隊
西郷どん大河ドラマ館周辺では、幕末・維新期の衣装を着たキャストが観光案内をしています。



維新ドラマの道の入口には、高さ3メートルの6本の柱があり、左斜めから見ると西郷隆盛、右斜めから見ると大久保利通の肖像画が見えます。



西郷と篤姫の衣装



小道具のカステラ



中央が西郷どん



島津斉彬と篤姫



西郷隆盛銅像(像の高さ10.5m)
袴姿で腕を組み、束を見据えています。



西郷公園の銅像と
大河ドラマ「西郷どん」のポスター

剣聖 上泉伊勢守 ゆかりの地

上泉伊勢守信綱（秀綱）公は新陰流の流祖で、柳生石舟斎ら多くの門人を育て、「剣聖」と仰がれています。前橋市上泉町や桂萱地区は信綱公の銅像、墓碑などがあり、「新陰流の聖地・剣聖の里」として注目を集めています。NHK前橋放送局長の井口治彦氏に、信綱公に関するご寄稿をいただきましたので、紹介します。

新陰流の聖地・前橋市上泉地区を訪ねて

NHK前橋放送局長 井口治彦

NHK前橋放送局長の井口治彦と申します。昨年六月に前橋に参りました。どうかよろしくお願ひ申しあげます。

花燃ゆ、真田丸、おんな城主直虎とNHK大河ドラマは、三作続けて群馬県にかかりがありました。今年は鹿児島県が中心になっています。群馬県と大河ドラマとを考えたときに浮かんでくるのが、自分が子供時代に見ていた「春の坂道」です。放送は昭和46年、原作は山岡荘八先生であつたと思います。江戸幕府の礎を築いたひとり、柳生但馬守宗矩を主人公とし、徳川幕府草創期の政治や人間模様を剣の心を通して描いた作品でした。主演は故萬屋錦之介さん、徳川家康に故山村聰さん、柳生十兵衛を原田芳雄さんと、個性的な俳

優による力演でした。現在歌舞伎で活躍されている市川海老蔵さんのお父様も徳川家光を演じられていました。私自身が後に中学校で剣道を始めますが、このドラマの影響で剣に興味を持ったことを懐かしく思い出します。

長く続々戦乱の世に終止符を打ち、徳川家による国の平定を願っていた徳川家康は、柳生石舟斎と出会い、柳生新陰流を知ることになります。「活人剣」という教えに惹かれ徳川家康は、柳生石舟斎を臣下に迎えようとします。しかし柳生石舟斎は高齢のため辞退し、かわりに送り込んだのが五男の宗矩でした。柳生宗矩は後に大目付、柳生但馬守となり江戸幕府の安定に力を發揮したとされています。

その柳生新陰流の源となるのが、上泉伊勢守秀綱を祖とする新陰流です。その舞台のひとつが群馬県前橋市の上泉地区です。「剣聖」上泉伊勢守秀綱は1508年生まれとされています。剣の修行に励む過程で愛洲移香斎の教えにも触れたようです。そして、自得して新陰流を開きました。「袋竹刀」を考案し、安心して稽古に励めるよう工夫もしました。武田信玄から仕官の誘いもあったのではとされていますが、剣の修行に旅立ちました。柳生石舟

る武芸者とも諸国修行で出会い、そして「殺人刀」ではなく、「活人剣」の教えを広めていったとされています。私自身組織を預かる者として、「活人剣」があらわす、「人を生かすこと、この難しさに悩むことが多いのです

新陰流は今も多くの方が稽古に励んでいますし、海外にもその広がりをみることができます。さまざまなお教えが残されています。私自身組織を預かる者として、「活人剣」があらわす、「人を生かすこと、この難しさに悩むことが多いのです

ACCESS MAP (群馬県前橋市上泉町周辺)



参考資料：上泉伊勢守（上泉伊勢守400年祭実施委員会
前橋が生んだ剣聖上泉伊勢守物語（生誕500年記念
編集プロジェクト）



西林寺寺宝の御前机
上泉伊勢守が元亀二年(1571)に日本で最初の剣道展覧試合において正親町天皇より下賜されたと伝えられます。
机の上には「袋竹刀」が置かれている。



上泉伊勢守の墓所(西林寺)



御前机に置かれた上泉伊勢守の木像



諏訪神社 毎年十月に行われるお祭りに、上泉伊勢守が寄進したと伝えられる獅子舞が奉納されます。



上泉城跡の土壘



新陰流流祖生誕之地の石碑



上泉町自治会長の田村二男氏
ゆかりの地を案内していただきました。



井口NHK前橋放送局長
背後の像は、生誕500年を記念して建立された上泉伊勢守之像。
新陰流の基本である「無形の位」という代表的な構えで、手には袋竹刀を持つ。上泉自治会館の敷地内にある。
(前橋市上泉町1168-1)

井田昌明展 「伝統と継承のかたち」

2018年6月6日(水) 開館時間…10時～17時
休館日…6月16日・17日・23日・24日・30日
ギャラリートーク…6月10日(日)午後2時～3時
株式会社ヤマト 本社1階ギャラリー・ホール 入場無料

シリーズ 群馬の美術家①

井田昌明



まだ見ぬ山頂へ、ヒルクライムの日本画家

元群馬県立近代美術館学芸員 染谷滋

はじめての本格的展覧会

井田昌明を知ったのは、前橋市文京町にある画廊翠巒での3年前の個展だった。それは井田の初めての個展で、既に45歳になっていた。画廊主の話では、30歳の頃から個展開催を打診していたが、なかなか承諾してもらえず今になつたと云う。だからと云つて、井田が作品発表をしなかつたわけではない。東京藝術大学の大学院を修了した27歳の春に、日本画の団体としては長い歴史を誇る日本美術院の春の院展に初入選し、本番である大作を出品する秋の院展でも初入選、以来院展を舞台に着実に成果を挙げ、30歳のときには院友に推奨されている。

グループ展も頻繁で、主に東京藝大の出身者で院展の若手を中心とした「有芽の会」(西武アートフォーラム)や「隼の会」(松坂屋)、「新樹会」(三越)などに参加していたから、東京で団体展や百貨店の画廊を回るような日本画好きの美術ファンには、早くから目に止まつていたに違いない。

それでも、群馬で井田の作品を目にする機会はほとんど無かつた。3年前の初個展の後、昨年二度目の個展が同じ画廊翠巒で開かれたが、今回、株式会社ヤマトのホールで大規模な展覧会が開催されることは嬉しい限りだ。学生時代の作品をはじめ、院展出品作を含むこれまでの主要作品が、まとまつて見る事の出来る貴重な機会になるだろう。

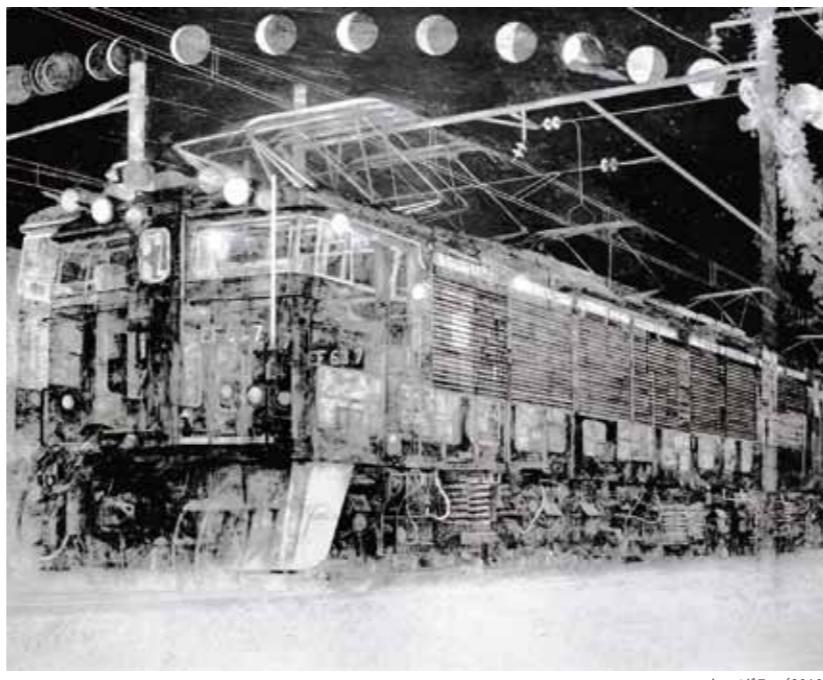
古画の模写

東京藝大で日本画を専攻した井田昌明の経歴で際立っているのは、卒業後1年のブラントンを挟んで入学した大学院で、文化財保存学の日本画修復を学んだことだ。

次々と新しいものに目が行くのは社会全般、とりわけ若者には顕著で、美術の分野でも現代アートが花盛りだ。伝統的な日本画の世界でも同様で、新しい表現を求める試行錯誤で競い合っている。

「ED421」で、「ロクサン」よりはずつと古いアプト式電気機関車らしい。確水峠を越える旧碓氷線は、早くも明治26年に開通し、平成9年に廃線となるまで百年以上の歴史を刻んだ。井田の作品に頻繁に描かれる機関車は、この旧碓氷線への追憶がベースになっている。

井田が碓氷峠を越えるときは、必ずしも機関車に乗つたわけではない。井田は父親の影響もあってか昔からの自転車好きで、若い時から重い荷物を積んで自転車で峠を越える旅をした。そのとき見え隠れする碓氷線の存在は、電気機関車の勇姿だけでなく、トンネルも陸橋も井田の心中に深く刻まれた青春だった。



クロノグラフ (2012)



愛國時計(2014)

るのが現状だ。

そんな時代に井田は、原点に立ち戻つて古いものを見直そと日本画修復を学んだ。その実力が評価されて、大学院修了後には京都の古寺で文化財模写の仕事を二つ手がけている。淨瑠璃寺の重要文化財「三重塔初重壁画十六羅漢像」の現状模写と、法界寺の国宝「阿弥陀堂四天柱絵」復元模写の仕事である。

痛んだところをそのままに描き写す現状模写と、最初に描かれた状態を推定する復元模写とは、同じ模写でも随分違うが、自分の個性を出さない点では共通している。創造性が何より重視される画家が、その創造性を封印して模写に集中するのは正反対の道にも思える。井田はこの仕事に10年を超える月日を費やした。

もちろんその間にも、院展やグループ展への出品は続いている。個性的な封印と開放という制作のリズムが、どうやら井田には性に合つたようだ。

追憶の碓氷線

井田昌明の作品には、早くから鉄道が登場する。初めて秋の院展に入選した《ひびき》という作品は、廢屋のような建物の窓の外を、電気機関車に連結した客車が走っているが、よく見ると機関車には「EF6311」という番号が読める。鉄道マニアならこれが碓氷峠を越えるために開発された、「ロクサン」と呼ばれる電気機関車であることはすぐに分かるに違いない。今回展示される予定の《クロノグラフ》《臨界電話》にもこの型の電気機関車が描かれている。

《夜行列車》《分岐点》などに登場するのは

まだ見ぬ頂へ

1969年 前橋市生まれ
1994年 東京藝術大学美術学部(絵画科日本画専攻)卒業
1997年 東京藝術大学大学院 美術研究科文化財保存学保存修復日本画専攻修了
2000年 車の会(銀座・名古屋・大阪・松坂屋)
2001年 よみがえる日本画—伝統と継承—1000年の知恵—
(東京藝術大学大学美術館)

1998年 有芽の会(西武アートフォーラム)
2000年 再興第82回院展初入選
2001年 第52回春の院展初入選
2003年 第58回春の院展春季展賞受賞
2004年 新樹会(日本橋・名古屋・三越)
2007年 国宝「阿弥陀堂四天柱絵」復元模写完成(京都・法界寺)
2010年 采の会(銀座・名古屋・松坂屋)
2011年 守り伝える日本の美・よみがえる国宝(九州国立博物館)
2015年 個展「玄景」(前橋・画廊翠巒)
2017年 個展「レクイエム」(前橋・画廊翠巒)
現在 在日本美術院院友

ローソン館林木戸町店様

群馬県館林市



環境配慮モデル店舗

ローソン館林木戸町店

豊かな地球の恵みを次世代に引き継ぐため、環境に配慮した店舗の構築を推進しています。

先進的な取り組み: 省エネ施策を店舗へ導入し、従来比で消費能力を60%削減。
→断熱性の高い国産材のCLT(直交集成板)を使用~

60%

① 建築部材CLT(直交集成板)
② 自動開閉装置
③ 蒸散抑制装置
④ 断熱材(複合)
⑤ CO₂冷凍機直冷式
⑥ LED照明(直付)
⑦ LED照明(直付)
⑧ 太陽光発電システム

⑨ エネルギー蓄電システム
⑩ ガラスサッシ

コンビニ初
要冷室外機の運転を行なう蓄熱した冷熱を昼間に利用。エネルギーの消費効率を高めて省エネと蓄エネを実現。

環境配慮モデル店舗とは

最先端の技術を結集したローソン。省エネ効果を検証し、効果の高かった機器やシステムは新店へ導入。館林木戸町店では外部から調達する電力量を2016年度の標準的な店舗対比で約60%削減の見込。

蓄熱を利用したウルトラエコ・アイスシステムで省エネ・蓄エネ店舗の構築

省エネ

外気温度の低い夜間に冷凍機を運転

▼
冷凍機効率UP

蓄エネ

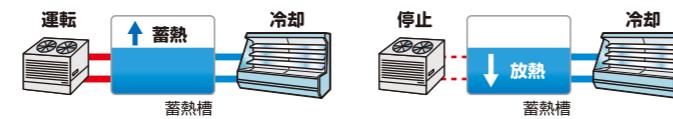
熱エネルギーをかしこく貯めて、かしこく使う
デマンドレスポンスにも対応可能

上げDR: 電力需要を増やす。

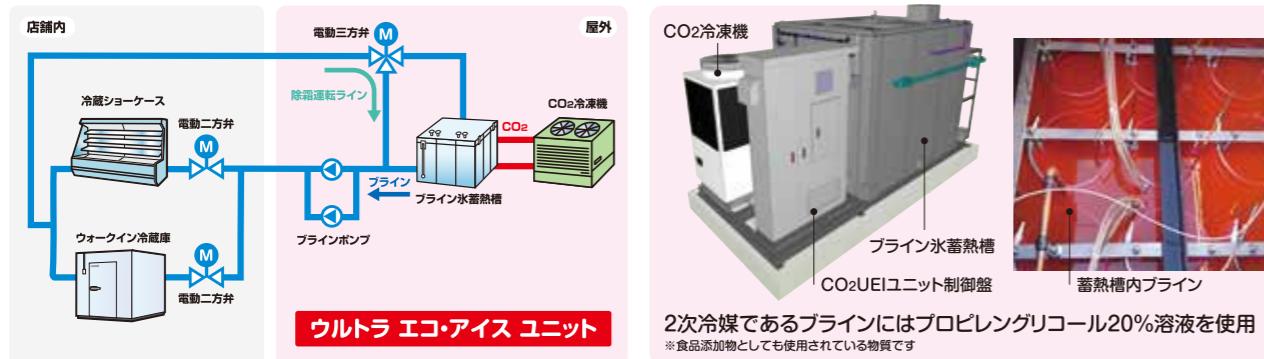
例) 再生可能エネルギーの過剰出力分で冷凍機を稼働させて蓄熱します。

下げDR: 電力需要を減らす。

例) 電力のピーク需要のタイミングで冷凍機を停止します。



ウルトラエコ・アイスシステム(CO2Ver.)の構成



システム特徴

- 1 熱源機に自然冷媒のCO₂冷凍機を採用
- 2 CO₂冷凍機で蓄熱槽内のブレイン(不凍液)を冷却して蓄熱
- 3 ブレイン(不凍液)を冷媒として供給し冷却
- 4 電気ヒーターを使用しない独自の霜取り方式を採用
- 5 外気温度の低い夜間に蓄熱運転
- 6 安定した温度品質を提供
- 7 デマンドレスポンスに対応

効果

- 1 省エネルギー
 - ・システム電気使用量 5~10 %低減
 - 2 食品の高鮮度保持
 - ・ショーケース、冷蔵庫内温度の安定化
(設定温度 ±2°C ※扉付きショーケース仕様)
- ※ 比較対象 直膨システム

ブリティッシュショーケース 設計施工

工事名称	ローソン館林木戸町店冷蔵設備 (ウルトラエコ・アイス)設置工事
工 期	2017年12月12日～2018年1月9日
敷地面積	2047.73m ²
建物規模	木造1階 206.59m ²
工事概要	CO ₂ UEI-10.8ユニット (CO ₂ 冷凍機10HP、蓄熱槽8m ³) 冷蔵設備(ブリティッシュショーケース)設計施工

ローソン館林木戸町店が2018年1月19日にオープンしました。同店は株ローソン様の環境配慮モデル店舗で、熱源にCO₂冷凍機を導入した当社オリジナルのノンフロン冷却システムが採用されています。その特徴は、①自然冷媒の使用、②蓄熱して電力の需要を調整できる点となっています。今回の導入では、省エネ性を検証するだけでなく、設備を10T化して夜間蓄熱による電力ピーク時の節電制御・需給調整も試験的に実施します。

ローソンは、2008年より、最新の省エネ施策と創エネ設備を導入し、実験・検証を行う、環境に配慮した店舗をオープンしています。これまでの実験検証で得られたノウハウをもとに、「LED照明」「CO₂冷媒冷凍冷蔵機」「太陽光発電設備」の新規・既存の店舗への導入を進めています。

今回の館林木戸町店に採用させて頂いたウルトラエコ・アイスは、昼夜間の外気温度差による室外機運転効率の向上と省エネを目的としており、株式会社ヤマト様と一緒に年間通じた計測・効果検証を継続させて頂きます。

また、本店舗では経済産業省のVPP構築実証事業の対象店舗としてウルトラエコ・アイスを遠隔制御可能にしており、電力需要制御リソースとしての検証も行っています。

蓄エネ省エネの両立の可能性があるウルトラエコ・アイスについて、PDCAを繰り返しながら店舗に沿って良い効果が出せるように、株式会社ヤマト様と一緒に検証を行なっていきたいと思います。

お客様の声

株式会社ローソン 開発本部 建設部 津田直人様

ローソンの環境配慮モデル店舗

社会医療法人至仁会 圏央所沢病院 様

埼玉県所沢市

患者さん、スタッフ双方に心地よい空間を提供

風が当たらぬ放射空調を導入



透析センターの外観

圏央所沢病院様の透析新棟（4階建て）が平成30年4月に完成しました。透析センターは1階と2階で、合わせて1112床あります。建設プロダクトのヤマトは、空調設備工事を担当し、放射空調を実現する「エアビーム（木村工機株製）」を設置しました。空調の風による暑い、寒いは、治療を不快にする原因の一いつとなっていました。この問題に対処するため、風が直接当たらない空調を採用されました。

※エアビームとは…

木村工機株式会社のエアビームは、各種空調機に接続して放射空調を実現する最新式空調機に接続です。熱放散とわずかな気流で不快な風当たりに悩まされることなく、部屋の隅々まで快適な温湿度へ調整します。

施設概要

名 称 社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院
住 所 埼玉県所沢市狭山ヶ丘 4-2692-1
電 話 04-2920-0500（代）



吹き抜けがあり、大きな窓からの採光で快適感が増します

お客様 の声

社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院

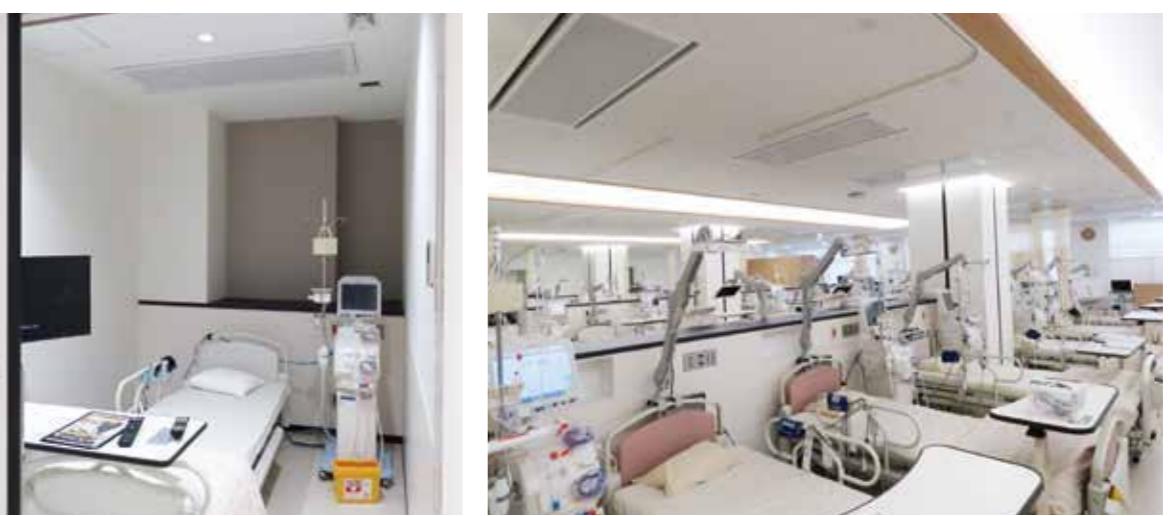
透析センター課長 M.E科臨床工学技士長

志賀邦秋 様

スタッフと患者さんでは室温の感じ方がまったく違うので、患者さんの訴えを言われず察することはなかなかできません。当院では患者さんに寄り添つた医療を提供することがテーマの一つです。空調問題はこのテーマを大切にするための大きな導入だと考えております。

今回、患者さんに輻射空調を導入したこととを説明するとしても喜んでいただけました。

1年間、変化する季節毎の環境に対し、安定した空調を提供できることにスタッフも大変満足しているとともに、大きな期待を抱っています。



個室にも放射空調があります

透析室に放射空調が設置されています